

躍動する「ひらど」を 今まで以上に 加速させていく

平成29年3月平戸市議会定例会において、黒田市長が平成29年度の施政方針の演説を行いました。

新年度予算の方針

平成29年度当初予算編成にあたりましては「平戸市総合計画」の基本理念に基づき、共通目標および基本目標を予算編成の柱とするともに「行政改革推進計画」および「第2次財政健全化計画」を踏まえながら、より効果的な事業の取捨選択を行うなど、財政状況も勘案した予算の重点化を図りました。

特に、平成27年度に策定した「平戸市総合戦略」に計上された施策についてはその目標達成のため、積極的、重点

的に予算配分を行ったところであります。

また、本市の重要な課題であります「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の推進につきましては、平成30年度の決定に向け、今後も各関係機関と調整を図りながら、官民が一体となって登録推進に努めてまいりたいと考えております。

平戸市総合計画に 基づく予算編成の概要

共通目標

① 参画と連携による自立した地域の確立
住民の生活環境の向上を図るため、継続して住民による新しいコミュニティづくりなどの各種施策を推進していきます。

② 効果的・戦略的な行政経営への転換

行政改革推進計画および定員適正化計画に基づき、歳入の確保や行政経費の削減に努めます。また、大きな歳入確保策となっているふるさと納税について、これからも全国からの寄附者に応援していただけるよう改善を図りながら取り組みを継続していきます。

基本目標

① 自然と共生した安全で快適な生活基盤の確保

「CO2排出ゼロ都市」を実現するため、太陽光発電システムの設置促進や再生可能エネルギー事業者への支援などを行います。また、関係機関との連携強化や自主防災組織の育成などを図り、防災対策の推進を行います。

② 健やかで笑顔とやさしさがあふれる地域社会の形成

安心して子どもを産み育てることができる環境を充実させ、多様化するニーズに対応していきます。また、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができ

るよう医療・介護などが一体的に提供される「地域ケアシステム」の構築に向けた事業を展開していきます。

③ 明日を担う人材の育成と個性豊かな地域文化の振興

将来の平戸市を支える人材を育成することを旨とし、「学力の定着と向上」「ICTの活用と英語教育の推進」などの重点事項を掲げ、各種施策に取り組みしていきます。

④ 活力ある産業振興と雇用の創出

本市の基幹産業である農業や水産業などについて、担い手の育成や環境整備などの支援を行い、産業の振興を図ります。また、新たな産業の創造を図るため、田平地区で進めている工業団地の整備を推進します。

⑤ 魅力ある観光の振興と交流人口の拡大

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録推進と新たな観光資源を活用した事業展開により、観光の振興と交流人口の拡大を図ります。



一般会計当初予算 278億9,200万円

平成29年度
平戸市

ずっと住みたい
魅力ある「ひらど」を目指して

過去最大の予算に

「ずっと住みたいまち」の創出に向け、平成27年度に策定した「平戸市総合戦略」に係る事業の積極展開や引き続き好調なふるさと納税の影響（主に返礼品の繰越）などにより、278億9,200万円となり、平成

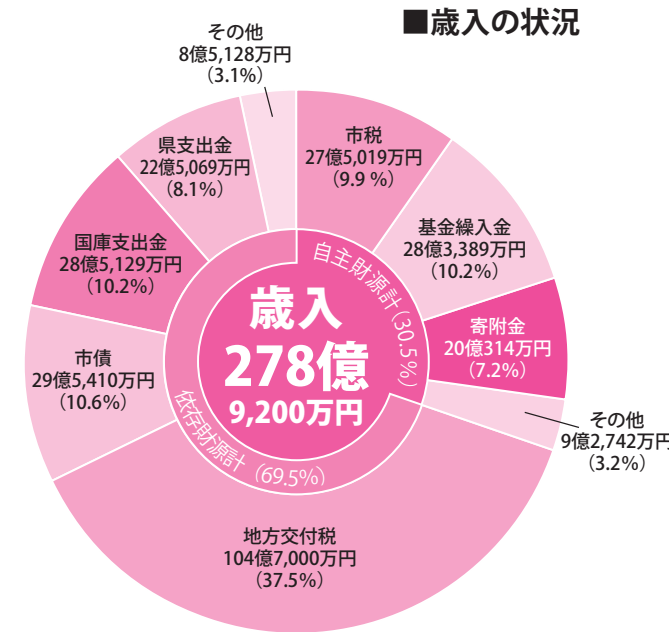
28年度を6億4,200万円(2.4%増)上回る過去最大規模の当初予算となりました。

自主財源が増加

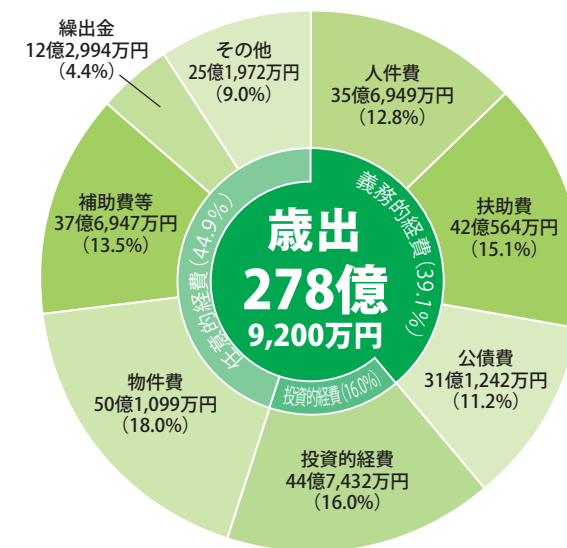
自治体が自主的に調達できる財源のことを「自主財源」といいますが、

自主財源が多いほど自由に使える財源が多いということです。その自主財源は、個人市民税や固定資産税など市税の伸び(6,483万円増、2.4%増)や「やらんばー平戸応援基金」の活用などにより30.5%となり、平成28年度から7億1,500万円(1.9ポイント増)増加しました。

■歳入の状況



■歳出の性質別分類の状況



貯金を崩さない予算編成

財政調整基金とは、年度間の財源の不均衡を調整する役割をもつ基金(貯金)ですが、平成28年度は収支不足分1億2,000万円の取り崩しを当初予算に計上しました。平成29年度は、市税の伸びや市債(借金)の積極的な繰上償還による公債費(借金の返済費用)の減(3,855万円減、△1.2%)などにより、財政調整基金に頼らない収支均衡のとれた予算編成ができています。

楽観視はできない

歳入のうち、地方交付税が37.5%を占めるなど依存財源は全体の69.5%となっており、自主財源に乏しい財政構造であることは変わりありません。地方交付税の大部分を占める普通交付税は市町村合併の特例期間終了に伴って今後減少していくと考えられます。また、少子高齢化に伴う社会保障費の増加も懸念されることから決して楽観視はできません。

特別会計 113億5,875万円

特定の事業ごとに経理、運営する一般会計から切り離れた予算です。国民健康保険や農業集落排水事業など、保険料や使用料などの特定の収入で事業を実施します。

会計名	予算額	対前年度比
国民健康保険	61億7,048万円	1.8%
後期高齢者医療	4億3,384万円	5.7%
介護保険	44億1,958万円	0.0%
農業集落排水事業	1,854万円	38.4%
宅地開発事業	450万円	同額
あづち大島いさりびの里事業	1,228万円	△1.8%
電気事業	1,598万円	△2.6%
駐車場事業	440万円	同額
工業団地事業	2億7,915万円	43.4%

企業会計 52億6,175万円

民間企業のように、その事業の収益で経費を賄って仕事(サービス提供)を行う予算です。

会計名	予算額	対前年度比
水道事業	19億7,860万円	△30.2%
病院事業	27億2,651万円	△1.4%
交通船事業	5億5,664万円	144.6%

市民1人当たりの予算額 85万5,819円

(対前年比3万3,500円の増)

※人口32,591人(平成29年3月1日現在)で計算

総務費 21万4,483円 (対前年度2万5,474円の増) 地域振興やふるさと納税の返礼品など	民生費 20万8,290円 (対前年度3,629円の増) 高齢者や児童の福祉など	公債費 9万5,499円 (対前年度413円の増) 借入金の返済	衛生費 8万3,633円 (対前年度1万1,886円の減) ごみ・し尿処理や病気予防など	土木費 6万7,891円 (対前年度1万635円の増) 道路、住宅の整備など
農林水産業費 6万652円 (対前年度3,029円の減) 農林水産業の振興など	教育費 5万5,027円 (対前年度4,898円の減) 学校や図書館、文化振興など	消防費 2万5,777円 (対前年度821円の増) 消防、防災対策など	商工費 2万4,652円 (対前年度901円の増) 商工、観光の振興など	その他 1万9,915円 (対前年度1万1,440円の増) 議会運営、災害復旧など

平戸市総合戦略に基づく

平成29年度に実施する主な事業

「ずっと住みたいまち」の創造に向け、各種事業に取り組みます。

ここでは、今年度実施する多くの事業の中から、特に主要な事業をご紹介します。

総合戦略では「雇用の促進」「産業の振興」「子育て支援」「定住・移住の促進」の4つの基本目標を設定し、平成29年度はさらに予算の重点化を図りました。また、その財源の一部としては、ふるさと納税を原資とした「やらんば！平戸応援基金」を積極的に活用しています。

雇用の促進

～しごとをふやすプロジェクト～



工業団地整備事業(特別会計)・・・2億7,504万円(一般会計繰出金415万円)

田平地区において進めている工業団地の平成30年度中の完成および分譲を目指し、整備を推進します。

地域情報化基盤整備事業・・・3億9,610万円
紐差、津吉、大島、度島地区において超高速ブロードバンドサービスの整備を行います。これにより、平成29年度末には市内全域の整備が完了する予定です。

ものづくり・創業支援対策事業・・・6,500万円
既存事業者の事業拡大や新規創業に係る設備投資への補助などを行い、雇用の促進を図ります。

産業の振興

～しごとをのばすプロジェクト～



世界遺産登録推進受入環境整備事業・・・1,005万円

平成30年度の世界遺産登録を目指し、世界遺産候補地を活用したツアー商品の造成や周遊バスの運行、ガイド育成などを行い、受入環境の整備を行います。

平戸式もうかる農業実現支援事業・・・4,449万円
新規就農者の確保・育成対策に取り組みます。また、新たな園芸品目の産地化および肉用牛の生産体制強化のための施設整備や繁殖雌牛導入に対する補助を行います。

平戸ブランド戦略的プロモーション推進事業・・・2,500万円
平戸産品の認知度向上と販路・取引拡大のため、首都圏・関西圏・福岡都市圏で積極的なプロモーション活動を行います。

子育て支援

～ひとをそだてるプロジェクト～



ICT教育推進整備事業・・・3,190万円

市内小・中学校にタブレット端末やデジタル教科書の導入を行い、教育環境の充実を図ります。

不妊治療支援事業・・・219万円

不妊治療に関する専門相談窓口の設置や不妊治療費用の助成を行います。

保育対策総合支援事業・・・955万円

保育士の労働環境改善のための保育補助者の雇用や、新規保育士の寄宿舎借り上げに対する補助を行います。

定住・移住の促進

～まちをつくるプロジェクト～



移住定住環境整備事業・・・3,020万円

移住者や定住者の新規住宅取得などに対する補助や移住コーディネーターによる相談支援などを行い、移住定住を推進します。

自主防災組織育成事業・・・100万円

研究会や訓練の実施など自主防災組織の育成を行い、安全安心なまちづくりを推進します。

コミュニティ推進事業・・・1億937万円

小学校区を基本単位としたまちづくり運営協議会に対し、まちづくり計画の策定支援やまちづくり交付金の交付を行い、地域住民主体のまちづくりを推進します。

その他の主要な事業

～4つの基本目標以外の事業～



新船建造事業(企業会計)・・・3億4,122万円(一般会計繰出金1億5,370万円)

大島～平戸間を運航する交通船の新船建造を行い、平成30年度中の完成および就航を目指します。



福祉医療給付事業・・・5,929万円

平成27年度に対象者を拡大した小中学生の医療費助成について、市内医療機関受診分の現物給付化を行います。

(仮称)戸石川公園整備事業・・・8,310万円

旧平戸市離島開発総合センター跡地の都市公園化に向け、当センターの解体を行います。(都市公園は平成30年度中の完成予定)

地域密着型サービス施設整備事業・・・3,200万円

度島地区における認知症高齢者グループホームの建設に対する補助を行います。

ふるさと応援寄附金推進事業・・・19億3,837万円

ふるさと納税のPRや寄附者に対する返礼品の発送などを行い、寄附金の推進を行います。

ノルトワイケルハウト市

姉妹都市交流事業・・・361万円

姉妹都市オランダ王国ノルトワイケルハウト市と相互に高校生の短期留学を行い、異文化体験を通じた青少年の人材育成を図ります。